



夢のあるまちづくりと地域の活性化 安心して暮らせるまちづくりについて

自由民主党議員団 田中正繁議員

問 現在進められている三池港港湾計画の進捗状況について聞きたい。

答 港周辺の臨港道路や公共埠頭の整備、多目的クレーンの設置が行われ、今後、コンテナヤードの拡張整備や

予備クレーンの増設、小型船だまりの整備を予定。

問 新栄町駅前地区市街地再開発構想が民間主導で進んでいるが、市として同地区の環境整備をどう図るのか。

答 交通の拠点機能を生かし、街なか居住を推進していることから、レマン跡を活用した施設を整備する。

問 中学校給食の早期実現と民間委託について聞きたい。

答 給食実施に向けては、多くの方の期待に応えられるよう、スピードを上げて取り組む。また、民間委託についても基礎調査の中で総合的に検討していく。



行政がリーダーシップをとり 新幹線新大牟田駅の有効活用を

自由民主党議員団 森 電子議員

問 九州新幹線新大牟田駅開業後の半年をどう総括し、今後のまちづくりに生かすのか。また、多額の予算を投じる観光情報発信等施設は、単なる観光案内所ではなく、市民に愛される施設を目指すべきだと思うがどうか。

答 今後100年のまちづくりの基礎となるインフラ整備であり、さらなるPRと利用促進に努める。駐車場も、JRの割引切符発売と同時期に値下げを予定。駅に人が集い、交流できる仕掛けづくりを進めたい。

問 中学校給食のスタートは、平成27年度か。1日も早い実施をお願いしたい。

答 食育の観点や、財政的に将来の負担が重くならない給食の提供方法を検討しており、有利な財源で施設をつくることを念頭に、27年度を目途に実施したい。



わくわくシティ基金は 本来のあるべき姿に

自由民主党議員団 境 公司議員

問 本市は21年度予算で、歳入欠陥補てん収入11億600万円を計上する中、わくわくシティ基金は議員提案で基金条例を廃止せず、取り崩し型に変更した。累積赤字が解消した今、本来のあるべき姿に戻すのが筋では

ないか。

答 今、基金残高は5,050万円ほどである。教育委員会としては、昨年度策定した大牟田市スポーツ振興計画や（仮称）大牟田市文化・芸術振興プランなど、文化・芸術・スポーツ分野の諸事業を推進する上で貴重な財源と認識する。条例で基金の額は1億円と定められているが、取り崩しているため、現在は半分になっている。条例により、必要であるときは基金に追加して積み立てることができることになっている。

インフォメーション

■決算特別委員会を開催

議員全員で構成する決算特別委員会（入江裕二郎委員長、古庄和秀副委員長）を設置し、平成22年度一般会計などの決算議案10件を、10月24日から28日までの5日間で審査しました。

■次の定例会は12月です

詳細については、11月上旬に議会事務局までお問い合わせ下さい。

また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）、または市民生活課（2階）奥の階段からお上がり下さい。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧下さい。12月上旬から閲覧できます。

ホームページでも12月上旬から閲覧・検索ができます。